

栄誉をたたえ

笠岡市文化の日記念表彰

笠岡市では、毎年十一月三日の文化の日に、本市の産業、文化、教育及び社会事業の振興、その他の公共のことに尽力された方々・団体を表彰しています。今年度受賞されるのは四名と一団体の皆さままで、主な功績は次のとおりとなっています。受賞される皆さんの栄誉をたたえ、今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



地域医療の向上に貢献

おの やすお
小野 泰生 さん

(笠岡)

昭和47年5月から笠岡中央病院院長として、疾病の治療・予防・公衆衛生の啓蒙に努められるとともに、医道の振作昂揚、医学医師の振興、地域の救急医療に多大の貢献をされている。

また、平成11年4月からの4年間は笠岡医師会の会長を務められ、休日輪番医制事業や災害に備えた医療救急チームの編成などの総指揮に当たられるとともに、岡山県南西部圏域救急医療推進協議会委員、笠岡地区救急業務推進連絡協議会委員を務められ、広域救急医療体制の整備に尽力されるなど、保健・医療行政の発展と適正化に尽くされた功績は顕著である。



教育行政の発展に貢献

にしな かずお
仁科 一夫 さん

(笠岡)

昭和24年から37年間にわたる教職の後、昭和61年4月からの13年間は教育長を務められ、本市教育の充実・発展に多大の貢献をされた。

豊かな心と広い視野を持ち、郷土の自然と文化を愛し、活力ある地域社会の発展に努める市民の育成を目指して、ハード・ソフト両面にわたる施策を積極的に推進された。中でも、学校の施設整備に力を注がれ、教育環境の改善に大きな成果を挙げられたほか、笠岡総合スポーツ公園及び古代の丘スポーツ公園建設の着手、カブトガニ博物館の開館、笠岡市文学賞の制定、(助)笠岡市文化・スポーツ振興財団の設立など文化・スポーツの振興にも大きく寄与された。

また、教育長を退任後も、社会福祉法人や社団法人の要職として、文化・奉仕活動などを推進され、地域福祉の向上に大きく貢献された。